

医科歯科連携の包括的な健康づくり実現に向けた 口腔ケアの現状把握と促進に関する共同事業

(1) 歯科レセプトを用いた口腔ケアの現状把握に関するアルゴリズム開発

- ▶ 歯科レセプトを用いて、歯科定期受診の状況を把握し、定期受診を行っていない介入対象者を抽出するためのアルゴリズムを開発する。
- ▶ 歯科疾患のうち歯周疾患に着目し、歯周疾患の検査あるいは治療の実態を把握するアルゴリズムを開発する。歯周疾患の検査及び治療の推定は、歯科レセプトの診療行為コード及び傷病名などから抽出アルゴリズムを構築する。
- ▶ 歯科定期受診や歯周疾患と全身疾患や生活習慣との関連の把握を可能とし、歯科疾患が健保組合の事業に与える影響について分析可能なアルゴリズムを開発する。

歯周疾患検査及び治療の抽出用コードの一例

	歯科診療行為コード	歯科診療行為名称
検査	304000610	歯周基本検査(20歯以上)
	304000910	歯周精密検査(20歯以上)
	309004810	歯周基本治療(スクレーピング(3分の1額につき))
治療	309005310	歯周基本治療(歯周ポケット掻爬(1歯につき)(前歯))
	309005710	歯周病安定期治療(20歯以上)
	309019810	歯周病重症化予防治療(20歯以上)
	310011610	歯周外科手術(歯周ポケット掻爬術)

(2) 歯科レセプトを用いた歯科定期受診・歯周疾患治療の現状把握と課題抽出、勧奨手法の検討

- ▶ 本事業で開発したアルゴリズムを用いて、歯科定期受診と歯周疾患治療の実態把握の試験運用を、コンソーシアム参加健保において実施する。
- ▶ コンソーシアム参加の健保組合間での課題の違いを整理し、汎用的なアルゴリズムの完成に向けた改良を行う。
- ▶ 歯科定期受診と歯周疾患の治療に向けた適切な歯科受診の実現に向けて、歯科受診勧奨に向けた方法について検討を行う。勧奨手法の検討にあたり、地域の歯科医師会などとの連携についても検討を実施する。

(3) 歯科分析システム(仮称)の開発と試験運用、工程表作成

- ▶ 歯科レセプトを用いた歯科定期受診や歯周治療の状況を把握する目的で、汎用性のある歯科分析システム(仮称)を構築する。構築したシステムをコンソーシアム内で試験運用し、評価・改良する。
- ▶ 歯科分析システムの利用とシステムを用いた受診勧奨を日常業務で実施するための工程表を作成する。

(4) 医科歯科連携分析システム(仮称)の開発と試験運用、工程表作成

- ▶ 歯科分析システムと歯科健診、特定健診、医科レセプト、がん検診精度管理システムなど様々なエビデンスを統合した汎用性のある医科歯科連携分析システム(仮称)を構築し、本システムを用いた分析と歯科受診勧奨を日常業務で実施するための工程表を作成する。
- ▶ 医科歯科の連携による包括的な健康づくりの手法や、歯周疾患と全身疾患の関連についての分析手法を検討する。
- ▶ 歯科事業の評価手法について検討する。

医科歯科連携共同事業 コンソーシアム

